

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SB3	社会ネットワーク論 Theory of Social Networks	堀田 裕子	専門	2	選択	2年春

### 科目の概要

人と人とをつなぐネットワークは、地域に根づくものだけに限りません。インターネットを通じて異なる地域の人びとが共通の目的のために活動するネットワークも増えています。また、「ネット社会」という言葉もごく一般的に使われるようになりました。私たちの間に、新たなコミュニティ意識(集団意識・空間意識)が形成されつつあるのです。このような「超域コミュニティ」、「ヴァーチャルコミュニティ」に焦点をあて、その実態、諸理論、今後の可能性について学びます。また、そこから生じる新たな社会問題にまで視野を広げて考えていきます。

学修内容	到達目標
超域コミュニティと地域コミュニティの違いを理解する。 超域コミュニティが誕生する社会的背景を学ぶ。 超域コミュニティの抱える諸問題を理解する。	インターネット社会の特性を説明することができる。 現代社会と伝統/近代社会とを比較することができる。 インターネット社会の問題解決のための考察ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	各回の「予習・復習」をおこない、講義に臨むことができる。 新聞やテレビニュースを観て、インターネットに関する諸問題にアンテナを張りめぐらしておくことができる。
	働きかけ力	
	実行力	授業内容のすべてがその場で理解できなくても、理解できなかった点を明確にしつつ、最後まで学修することができる。
考え抜く力	課題発見力	毎回のテーマのなかで、何が、どのような意味で、課題として考えるべきものであるかを見出すことができる。
	計画力	
	創造力	授業中に説明された理論や概念に基づき、さまざまな社会事象に適用したり、それに対する自分の考えを展開したりすることができる。
チームで働く力	発信力	授業中の質問 回答やコメントペーパーのなかで、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができる。
	傾聴力	ただ「聞く」のではなく、教員が強調する点にも留意し配布プリントにメモを取りながら「きき」、理解できなかった点や疑問点を整理することができる。
	柔軟性	自分とは異なる考え方や意見に対して、その内容をきちんと理解したうえで、賛同したり批判したりすることができる。
	状況把握力	
	規律性	下記のルールを守り、他の受講生と教員とで作り上げる授業の秩序を乱さないことができる。
	ストレスコントロール力	

### テキスト及び参考文献

教科書：使用しません。  
参考書：必要に応じて講義中に紹介します。  
教科書・参考書とは別に、毎回プリントを配布します。このプリントが教科書・ノート代わりとなるでしょう。

### 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「現代コミュニティ論」、「社会学」ほか

学修上の助言	受講生とのルール
インターネットを通じて、友人あるいはまったく見知らぬ誰かとコミュニケーションをするということの「光」と「闇」を、一緒に考えていきましょう。 配布プリントは括弧内を埋めるだけでなく、教員が口頭で話す重要な内容も記しましょう。そのために、講義を終始きちんと聞く必要があります。	・携帯電話・スマートフォンはカバンに入れておくこと。 ・配布プリントは毎回持参すること。 ・遅刻・欠席、および私語は厳禁。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	70	①	✓	授業中に出てきた概念について、自分の言葉で説明できるか。 授業で学んだ見方・考え方を、身近なインターネット上の問題を考えるうえで用いることができるか。 インターネット上の諸現象のなかに問題を見出し、それがどういう意味で問題なのかを説明し、その解決に導く考察ができるか。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		20		①	✓	授業中に出てきた概念について、自分の言葉で説明できるか。 授業で学んだ見方・考え方を、身近なインターネット上の問題を考えるうえで用いることができるか。 インターネット上の諸現象のなかに問題を見出し、それがどういう意味で問題なのかを説明し、その解決に導く考察ができるか。
						②	✓	
						③	✓	
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	毎回出席し、授業内容を配布プリント上に記述しているか。 教員が口頭で説明する事例について聞き漏らさずノートをとっているか。 (主体性) 質問・回答やコメントペーパーに意欲的に取り組むことができるか。 (実行力) 最後まであきらめず受講することができるか。 (課題発見力) 授業中の質問・回答やコメントペーパーにおいて、論点を踏まえた発言・記述ができるか。 (創造力) 授業中の質問・回答やコメントペーパーにおいて、講義内容をなぞるのではなく、自分の考えを展開できるか。 (発信力) 授業中の質問・回答やコメントペーパーにおいて、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができるか。 (傾聴力) 教員の話のなかで、強調したポイントを理解できるか。 (柔軟性) 自分とは異なる考え方に対して、頭から否定せず、論理的に批判できるか。 (規律性) 受講ルールに関して注意を受けずに最後まで受講できるか。		
				②	✓			
				③				
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(ミニペーパー)の合計得点が90点以上を「秀」、80点以上を「優」とします。</p> <p>「秀」は授業内容の十分な理解に加え、現在起こっている問題を踏まえて「超域コミュニティ」の今後について自分の言葉で述べるができること、「優」は授業内容の十分な理解に加え、「超域コミュニティ」の今後について自分の言葉で述べるができることを基準とします。</p>	<p>筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(ミニペーパー)の合計得点が70点以上を「良」とします。</p> <p>「良」は、授業内容を理解し、それを自分の言葉で述べるができる程度です。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	イントロダクション シラバスを中心に、講義の方法やポイントを説明します。また、多様なネットワークの現状と課題を提示します。	講義(90分)	二者間ネットワークと三者間ネットワークの違い、インターネット・ネットワークの現状について理解しましょう。	(予習)シラバスを読み、講義の趣旨を理解してください。 (復習)プリントとノートを読み直し、講義内容をどういったインターネット上の問題に適用できるか考えましょう。	60 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
2週 /	超域コミュニティの構造(1) 「超域コミュニティ」なるものが形成されてきた、歴史社会的背景を学びます。	講義(90分)	伝統社会から近代社会、そして現代社会への歴史的变化とその中での「情報社会」の位置づけについて理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)「情報社会」がどのようにして誕生したかを理解しておきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
3週 /	超域コミュニティの構造(2) 超域コミュニティの構造について、取り巻く社会との関連およびオフラインの群れとの比較から学びます。	講義(90分)	インターネット上の人の群れが、オフラインの群れとどう異なるのかを理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)オンラインとオフラインの群れの違いについて、整理しておきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
4週 /	超域コミュニティの構造(3) 超域コミュニティを集合体および集団としてみた場合の、人間関係の違いについて学びます。	講義(70分) ミニペーパー(20分)	インターネット上の人の群れを、「集合体」および「集団」の観点から考え、それぞれの有効性について理解しましょう。	(予習)第1回から第3回までのポイントを、レジュメとノートを参照し整理しておきましょう。 (復習)「集合体」と「集団」との違いについて学習しておくといでしょう。	120 60	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
5週 /	情報、メディア(1) 「情報」とは何か。その特質と、ネットワークとの関連性について学習します。	講義(90分)	「情報」という記号および商品について、「モノ」とは異なるその性質を理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)「モノ」の価値と「情報」の価値の違いを主軸に理解しておいてください。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
6週 /	情報、メディア(2) 「メディア」に焦点をあて、メディアリテラシーの問題を考えます。	講義(90分)	メディアリテラシーの問題、とりわけ情報格差の現状や原因について、しっかり理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)情報格差の影響因子についてまとめおきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
7週 /	超域コミュニティと個人(1) 諸個人が集団を形成するメカニズムと、メンバーシップの問題を考えます。	講義(90分)	ROMといったインターネット特有の存在を考慮に入れ、集団形成とメンバーシップについて理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しつつ、ROM(Read Only Member)のもたらす影響について考えてみてください。 (復習)オンラインとオフラインのメンバーシップの違いについて整理しておきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
8週 /	超域コミュニティと個人(2) インターネットが諸個人のアイデンティティに及ぼす影響について考えます。	講義(70分) ミニペーパー(20分)	「地位群」「役割群」がアイデンティティにもたらす影響について、理解しましょう。	(予習)第4回から第7回までのポイントを、レジュメとノートを参照し整理しておきましょう。 (復習)「アイデンティティ」や「地位」「役割」といった基本概念について理解しておくといでしょう。	120 60	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	ネットワークと身体(1) 「声の文化」と「文字の文化」の発達を追いながら、ネットワークにおいて身体のもつ意味について学びます。	講義(90分)	「声の文化」と「文字の文化」とはそれぞれ具体的に何を指し、どう異なるのかを、理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しつつ、ラジオやテレビといった身近なメディアがどのように発展してきたかを調べておきましょう。 (復習)「声の文化」と「文字の文化」における人間関係の違いを理解しておきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
10週 /	ネットワークと身体(2) 身体が、オンラインでのコミュニケーションとオフラインでのコミュニケーションにおいて果たす働きについて学びます。	講義(90分)	ノンバーバル・コミュニケーション論の考え方や、オフライン/オンラインの違いを理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)オフラインとオンラインの人間関係の違いを整理しておきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
11週 /	ネット空間と社会問題(1) 「メル友」、「出会い系」、SNSやオンラインゲームを通じて見知らぬ者同士が関係をもつことについて考えます。	講義(90分)	青少年を中心に広がる新しい人間関係のかたちと、そこから生じるトラブルとその理由について、理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)n対nの人間関係と、1対1の人間関係との違いを中心にまとめてみましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
12週 /	ネット空間と社会問題(2) ネット上で広がる流言や誹謗中傷などの「見えない敵」の問題を考えます。	講義(70分) ミニペーパー(20分)	「見えないこと」および「匿名性」の問題点と、その解決策を理解しましょう。	(予習)第8回から第11回までのポイントを、レジュメとノートを参照し整理しておきましょう。 (復習)ROMのような匿名的な人びとの性質について再考し、その性質に起因する事件などを調べてみましょう。	120 60	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13週 /	超域コミュニティの可能性(1) ネットを通じたボランティアの歴史、現状、その特性を学びます。	講義(90分)	インターネットのもつどのような性質が、ボランティアを成功させたのかを理解しましょう。	(予習)前回のレジュメを見直しておきましょう。 (復習)インターネットの性質とボランティアの性質との近似性について考えておきましょう。	90 90	主体性 課題 発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
14週 /	超域コミュニティの可能性(2) 「セカンドライフ」のような、ヴァーチャルな空間を過ごすということについて考えます。	講義(70分) ミニペーパー(20分)	私たちの空間意識の変化について、理解しましょう。	(予習)第12回から第13回までのポイントを、レジュメとノートを参照し整理しておきましょう。 (復習)「セカンドライフ」のような、ヴァーチャルな空間の良い点と悪い点について考えてみましょう。	120 60	主体性 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15週 /	まとめ 全体のまとめをおこないながら、「情報通信白書」のデータを使って、最新の傾向と、未来について考えます。	講義(70分) 質疑応答(20分)	「情報通信白書」のデータをこれまでの講義を通じて身につけてきた見方で正しく読むこと、また今の傾向を知ることが大切です。	(予習)これまでのレジュメと資料を見直し、分からないところを明確にしておきましょう。 (復習)プリントとノートを読み直しつつ、「情報通信白書」の概要を参照し、ICTの変化について理解しておきましょう。	90 120	主体性 課題 発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名: ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力  
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力